

あまでうすです

今回で四度目となるチエコ出身ダニエル・フォルロー氏のシンセサイザー・コンサートをながら川ふれあいの森で心ゆくまで10曲ほど、そのサウンドを堪能して来ました。

チエコの作曲家と云えばスメタナ、マラー、ドボルジャークが思い浮かぶ。裡でも交響詩『わが祖国』を作曲したスメタナは民族的愛国心を持った作曲家である。勿論この日のプログラムにもスメタナの『わが祖国』から『モルダウ』が演奏された。チエコでは毎年五月にプラハの春国際音楽祭が開催され、この曲がオープニングで演奏される。一九九九年

四十二年振りに亡命先であるイギリスから帰還したチエコの指揮者ラファエル・クーベリックがプラハの春で『わが祖国』をスメタナ・ホールで指揮した。オケはチエコ・フィルであった。その模様はBSで録ってビデオで持っている。クーベリックとバイエルン響が来日した時には名古屋市民会館に聴きに行っている。プログラムはモーツァルトの交響曲第三十八番とベートーヴェンの第七シンフォニー、所謂ベト7であった。一九七五年五月の事である。ちなみに七九年にはヴァイツラフ・ノイマン指揮チエコ・フィルでドボルジャークの交響曲第八番を聴いた。『わが祖国』の愛聴盤レコードは勿論クーベリック指揮ウィーン・フィルハーモニー

管弦楽団。CDではカレル・アンチエル指揮ボストン響を聴いている。この曲『モルダウ』を聴くと想い出す小説がある。それは、村上春樹の『スプリットニクの恋人』。これは、一人称で書かれていて、僕とすみれとミユウと云う人物の物語だが、時空間を超えた人間の結びつきが主題と成っている。文中に個人的にしこたま好きな場面がある。僕とすみれはなじみの喫茶店に入って、コーヒーを飲む。すみれはコーヒーと一緒にモンブランを頼んだ。店内にはアストラッド・ジルベルトボサノバ・ソング

「私をアルアンダにつれて行って」が流れている。目を閉じるとカップとソーサーがかたかたとふれ合う音が遠い潮騒みたいに聞こえた。アルアンダってどんなところなんだろう？ 「まだ眠いの？」 「もう眠くない」と僕は目を開けて言った。「元氣？」 「元氣だよ。春先のモルダウ河みたい」。また、なつかしき河よ。モルダウの清き流れは。わが心うつくしき河よ。モルダウの青き水面は今もなおと歌詞が付けられ合唱曲としても歌われている。クーベリックは云う。

「わが祖国は、スメタナが我我に与えてくれた、最高のプレゼントです」

風地蔵新聞

第97号

編集 田中 美帆
発行 風地蔵
〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85

ヤフーブログ 毎日更新中
炎の女みほ日記
<http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230>

愛妻弁当？

大橋 美紀

結婚してから22年、毎日(平日)主人のお弁当をつくっています。

22才で結婚した私は、毎朝5時には起き、6時10分には仕事に出かける主人に間にあうように作らなくてはいけないので、結婚したての頃は、どれくらい時間がかかり、何をくってお弁当に入れたいのかが、わからなかったり、あまりバリエーションもなかったりで、お弁

当の本を見たり、前日にすぐできるように下ごしらしておいたり、自分なりに考え、主人からの「おいしかったよ」の言葉が欲しくて、あの頃は毎朝、愛妻弁当作りに励んでいました。

なんてあの頃はわたし、可愛かったんだろうと思ひ返ししました。

あの頃の私は・・・？
そうです。

今、オーナーが昔の私を見ているような気がします。
オーナーのブログやお話を聞いていると、隆男さんの喜ぶ顔が

見たくて、そして隆男さんの体のことを考え、毎朝愛情いっぱいのお弁当をつくってみます。

その姿に、今では少々義務的になっていて、私のお弁当づくりなんです。もう一度気持ちをおの頃に帰して通うのですが、やっぱり無理だっ

(笑)
現在は長男が高校に入学した時から、今、社会人ですが、主人と長男のお弁当を毎朝二つ作っています。

子供の分が増えた時から、少々子供中心のお弁当に変化し

ているお弁当ですが、出勤時間に合わせ朝は奮闘です。
お弁当のおかずの定番といえば、卵焼きです。

お弁当箱の中で彩ってくる卵焼きは、主人の好物なので、卵焼きは必ず入れて

るおかずの一品です。毎日焼いている卵焼きですが、水分の量や、卵や具によって

も、上手に完ぺきに焼きあがるとき、少々

不満の残る焼き上がり

の時もあります。毎日ですから入れる具にもバリエーションを増やし、子供も飽きない様にしてい

て、ツナを入れたり、

かに？ではなく、カニかまぼこを入れる日、ホウレンソウにハム、コーンや、玉ねぎ&鶏ミンチに味をつけて入れたり、きのこ入り、塩こぶ入り、ねぎ入り卵焼きと毎日色々を変えて焼いています。主人は一番シンプルなお出し巻き卵が一番好きだと言います。

長男はなめ茸の味付けを入れた卵焼きが好きみたいです。

毎朝私はお弁当を作

りながら、私も誰かに

お弁当を作ったお弁当

を持っています。自分

かっているから、つまらなかつたし、味も分かつているから、楽しみもなかつた。義務化になっていく私のお弁当作りですが、主人も長男も、お昼はホッとする時間。私も学生の時母に作ってもらったお弁当が楽しかったように、その頃の私の気持ちのように、主人も長男も私の作ったお弁当をお楽しみみにしてくる様に、主人が定年まで、20年まだまだお弁当作りが続きます。毎朝頑張ろう。

ちよつと立ち話

太鼓のこころを読んで、私の子供も小川先生のところにいらっしゃいました。私はお会いしたことはないんですけどね。びっくりです。(お客様)

(美紀)

子供の成長と共に親も少し距離を持って見守ることも大切になってきますよね。オーナーももちろん、私も。そしてすべての親さんは子どもの幸せを願うんですもんね。

(由里子)

直で心のまま動くし、ゆるされる。いいな。私はキャンプをしたことがないので、体験はしてみたいですが、大変そうだけども楽しそうです。離れていても子を思う気持ち強く素晴らしいです。すてきな将来が待っていると思います。

(宣子)

この前テレビを見ていたら、ユキ姉が出ていて44才を過ぎてから子どもを産んだという事を思い出して、社長さんもまだ大丈夫だと思いました。(エステのSさん)

俳句と短歌もその時の情景が思い描けますね。自然災害も本当に自然の力の怖さを思い知らされますね。祖母を思うは本当に、大切にしているというのが伝わります。私の父方は私が生まれるずっと以前に他界していますし、母方も幼いころは、祖母がいるのを知らず、中学生位の時初めているのを知った。

のろけで悪かったね！(笑)いま、打ちこみ終わり、まず、原先生の長い長い作文に、腰が痛く次の日に持ち越しながら、自由人さんって、やっぱすごいなあ〜って感じました。だって、クールを装う、原先生が、びっくりマークの多いこと！それだけ心に響いたんでしょう。又、みきちゃんのは、思わずニコニコしました。最近弁当のおかずがマンネリ化で、やばい！と

に！そして店長の！あ〜あたしも行きたい〜。めっちゃうらやまし〜。3人の絆です〜！あたしは！！なんて思ってた、最後にとってつけたように、あたしたちの事も書いてあった。(笑)もうそれを読んだら、忘れもしない、去年の12月！みんなと一緒にいった、映画みて大垣城サルーン。あの日は楽しかった。飲み明かしたい気分だったことを思い出すとともに、結婚式の翌週、りおんの大会に2人で行くので、前日の22日、大垣城サルーンを今、予約しておきました！あ、これマジだから。全員参加でお願いします！へっへ〜んだ！

載ったよって、高山から電話してきたりおん。「かまざわさんがのつとるよ！」そして全文を読み、「みんながんばるとるな」と、ものすごく嬉しそうに話しているりおん。長い人生の中で、ここまでつながれる人たちに出逢えた事。奇跡としか言いようがありません。福岡にいても、朝礼が終わってコナミに行くのも大垣の隣の養老のプールにいつてるような感覚でいます。遠いけど、近い。そしてみんなの心が手にとるような文章に、微笑んでいます。あ、でも来月からは分の書き方のダメ出しを赤ペンで書いて送ろうかな〜ともたくらんでいます。もう店はクリスマスバージョンでしょうか。お正月も楽しみですね。風地蔵が生き生きしてる事、どんどん発信して下さい。(遠い空より。みほ)

ぜつたいに忘れてはいけない大震災。まだまだ復興には時間がかかります。現地にいった方(ポランティア+仕事)、今現在私もいろいろ話を聞かせてもらっています。10月3日の夜りんかさんのステージを店長に誘って戴いて原先生と3人で観に行ってきました。とってもバワフルのステージで、圧巻でした。太鼓はもちろんです。私は篠笛が最高でした。私も子どもの頃よくキャンプに行きました。キャンプデビューですね。一つ一つ勉強です。苦い出来事も、思い出となりま

すし、毎年夏の家族の思い出が増えていきそうです。俳句いいですね。又俳句の投稿少しづつですが、増えていると思います。今、CBCで「南極大陸」というドラマが始まって犬ぞりの話が出てきます。犬の中にも先頭で走れる犬がいなくてケンカをしたら、寝たりとバラバラでまともでないみたいです。人も一緒です。誰もがすごいと思える人がいると、その人を目標にみんなが一つになる、活力になると店長を読みながら思いました。私はどちらの祖父も亡くなっています。祖父は津川と鹿児島という普段なかなか会えなかった距離だから大橋さんがうらやましいです。子供は素

直で心のまま動くし、ゆるされる。いいな。私はキャンプをしたことがないので、体験はしてみたいですが、大変そうだけども楽しそうです。離れていても子を思う気持ち強く素晴らしいです。すてきな将来が待っていると思います。

のろけで悪かったね！(笑)いま、打ちこみ終わり、まず、原先生の長い長い作文に、腰が痛く次の日に持ち越しながら、自由人さんって、やっぱすごいなあ〜って感じました。だって、クールを装う、原先生が、びっくりマークの多いこと！それだけ心に響いたんでしょう。又、みきちゃんのは、思わずニコニコしました。最近弁当のおかずがマンネリ化で、やばい！と

に！そして店長の！あ〜あたしも行きたい〜。めっちゃうらやまし〜。3人の絆です〜！あたしは！！なんて思ってた、最後にとってつけたように、あたしたちの事も書いてあった。(笑)もうそれを読んだら、忘れもしない、去年の12月！みんなと一緒にいった、映画みて大垣城サルーン。あの日は楽しかった。飲み明かしたい気分だったことを思い出すとともに、結婚式の翌週、りおんの大会に2人で行くので、前日の22日、大垣城サルーンを今、予約しておきました！あ、これマジだから。全員参加でお願いします！へっへ〜んだ！

載ったよって、高山から電話してきたりおん。「かまざわさんがのつとるよ！」そして全文を読み、「みんながんばるとるな」と、ものすごく嬉しそうに話しているりおん。長い人生の中で、ここまでつながれる人たちに出逢えた事。奇跡としか言いようがありません。福岡にいても、朝礼が終わってコナミに行くのも大垣の隣の養老のプールにいつてるような感覚でいます。遠いけど、近い。そしてみんなの心が手にとるような文章に、微笑んでいます。あ、でも来月からは分の書き方のダメ出しを赤ペンで書いて送ろうかな〜ともたくらんでいます。もう店はクリスマスバージョンでしょうか。お正月も楽しみですね。風地蔵が生き生きしてる事、どんどん発信して下さい。(遠い空より。みほ)

めまぐるしい1日です

鎌澤 宣子

9月27日、わたしはこの日はどうしても行きたいコンサートがあり、スタッフに「この日は絶対休みを入れて下さい」とお願いをして、休みをもらってありました。

1週間位前から、姑にカットをしてほしいと頼まれていたのですが、カットだけならそんなに時間もかからないからと思って、どの時間にどう動いてと考えていたので、前日になって「やっぱりパーマをかけてほしい」と連絡があり、どうしようかと焦り、コンサートは無理かと思っていたのですが、どう

しても行きたくて、すぐ考えて、姑に、「朝8時くらいでもいいですか。一貫が2直なので11時までにはお昼食べさせないと間に合わないのでは。」と無理を言つて、時間の調節をしました。なのでこの日は、朝から大変な1日になりましたが、楽しい1日でもありました。朝8時にパーマをかけに姑のところに行き、10時に終わり、買い物をお願いして、急いで買物に行つて、届けて家に戻ると、もう息子が起きていたので、食事の用意をして、食べさせて、昼1時には息子を追い出して、私も市民会館に急ぎました。市民会館でロビーコンサートがあり、木管5重奏で、もともと木で

できた笛で、クラシックから童謡までを1時間ほどの演奏でワンコイン(500円玉一個)で聴けるというのでどうしても行きたかったんです。フルート、オーボエ、ホルン、クラリネット、ファゴットという笛なのですが、一つ一つの楽器を、それぞれ一人ずつ自分の楽器を説明して下さるのですが、フルートはもともとリコーダーと言われていて、フルートトラベルトというのが本来の呼び名だそうです。昔は木だったのですが、なかなか音が安定してなくて、オーケストラの中でも目立たなかったのが、パリ万博からは金属の物になったそうです。次にオーボエは、ダ

ブルリードといって2枚のうすい板を合わせて、その振動で音が鳴るそうで、オーケストラで音を合わせる時に、このオーボエのラの音に、すべての楽器が合わせるので、映画とかコマースヤルでよくつかわれている楽器なのだそうです。だから皆さんも一度は耳にしている楽器だそうですね。思わず「へえ〜」とびっくりでした。クラリネットはすべて木でできていて、シンングルリードだそうです。リードだけだと高い音が出て、本体と合わさると優しい音になります。2百年位前からあるそうです。メロディーとか伴奏によくつかわれるそうです。ファゴットはイタリアが発祥で

木を束ねたもので、ぱつと見た感じは、1メートル2、30センチくらいですが、長さの倍は息が入るそうで、ファゴットもダブルリードで低い音が出ます。最後のホルンは、動物の角のイメージだそうです。トランペットとトロンボーンの間でマウスピースを使います。これだけは管楽器だそうです。この5つの楽器は、太さ長さによって音が違って、フルートが細くて短いので、1番高い音、次に、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット

の順、一つづつの特徴を生かして一つの音楽が成り立っているのって、仲間も一緒だなと思います。それぞれ、個性、持ち味があつて、できること出来ない事があつても、それを他の人が補つて初めて店なり、会社なり、又サークルなどが、成り立っていくんだなと思います。飛びぬけてその中で一人だけよくても、駄目だと思えます。ハイモニー(調和)がよくなくては、いい音楽、心地いい音にはならないと思います。ロビーコンサートが終わったのが、3時ごろで、それから急いで家に帰り、掃除と洗濯ものをたたんで、うちの人が帰ってくる前に、いろんな事を済ませて、また夜は、りんかさんのコンサートが、池田の「ブルスカフェ」というお店であるの、それを聞きに大橋さん)と一緒に出

